

2022 年度 事業報告書

一般財団法人 ギャンブル依存症予防回復支援センター

2018年10月に施行されたギャンブル等依存症対策基本法に基づき、2019年4月に当センターも関係事業者として明記されているギャンブル等依存症対策推進基本計画（以下、「基本計画」という。）が閣議決定された。2022年度は、第2期基本計画の初年度であり、当センターも当該事業者として取り組むべき事項を着実に対応しているところである。

こうした動きの中、事業開始6年目となる2022年度は、ますます多様化するギャンブル等に関する依存症者やその家族などに対し、引き続き無料相談コールセンター（サポートコール）による相談対応を中心とした事業を行った。なお、当該事業については、アドバイザー契約を締結している医師並びに司法書士に協力を仰いだ。

ギャンブル等依存症及び当センターの活動に関する周知啓発については、ウェブ媒体などで行った。その結果、サポートコールへの入電件数は過去最高の7,548件となった。

2022年度においては、初診料を含む診察料などの負担（最大3回まで）を引き続き行い、希望者を対象としたカウンセラーとの対面及びオンラインでの継続カウンセリング、司法書士による金銭問題に関する相談（いずれも最大3回まで無料）を実施した。

また、滋賀県、大阪府、兵庫県、香川県の精神保健福祉センターに対し、当センターの事業内容の周知を行い、協力体制の構築を図った。

なお、事業運営にあたっては、公営競技及び、ぱちんこ業界などの動向も留意したところである。

事業報告

1. 無料相談コールセンター運営事業

無料相談コールセンターについては、「サポートコール」の名称で次の通り活動した。

(1) 無料相談コールセンター

- ① 相談期間（24 時間 365 日）
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日
- ② 相談方法
電話（0120-683-705）にて受付
- ③ 入電件数
 - ・総入電件数 7,548 件（前年比 1,690 件増）
 - ・月間平均入電件数 629 件（前年比 141 件増）
- ④ 内容
以下に起因するギャンブル等に係る相談を受け付けた。
 - ・ぱちんこ、スロット
 - ・公営競技
 - ・オンラインカジノ
 - ・宝くじ
 - ・株、FX
 - ・ゲームを含むインターネットでの課金
 - ・その他上記以外に係る相談

(2) 無料カウンセリングの実施

サポートコールへの相談者のうち、希望者には全国 10 か所あるカウンセリングルーム又はオンラインでカウンセリングを行った。

- ① 相談期間
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日
- ② 対応件数
53 件（前年比 13 件増）
- ③ 設置場所
北海道 3 カ所、東京都 2 カ所、愛知県、大阪府、広島県※、福岡県 2 カ所（計 10 カ所）
※2022 年度新規開設
- ④ 内容
サポートコールの相談者に対して、希望者には対面又はオンラインによるカウンセリングを行った。（最大 3 回まで）

(3) 司法書士による金銭問題に係る相談の実施

サポートコールの相談者のうち、希望者には司法書士による電話及び対面での金銭問題に関する相談を行った。

- ① 相談期間
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

② 対応件数

53 件（前年比 20 件増）

(4) サポートコール対応者（カウンセラー）のスキルアップ

月例会議にて、サポートコール対応者（カウンセラー）に向けて、対応のスキルアップを目的とした勉強会を実施した。

2023 年 3 月 30 日には、医師並びに司法書士を講師に迎え、研修会を実施し、対応能力の向上に努めた。

2. ギャンブル等依存症者に対する回復支援事業

回復支援事業として、診察料などの助成を次の通り行った。

(1) 診察料などの助成

① 対応期間

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

② 助成件数

69 件（前年比 50 件増）

③ 内容

助成範囲：初診料を含む最大 3 回までの診察料など

対象者：サポートコールのカウンセラーが案内した医療機関などを受診後、申請を行った者

3. ギャンブル等依存症に関する調査研究事業

ギャンブル等依存症に関する調査研究事業を以下の通り行った。

(1) 「アニュアルレポート」の作成・公開

サポートコールへの相談内容を性別、時間帯、対象者及び相談時間などの項目に分けて分析し、医師並びに司法書士監修のもと「アニュアルレポート」を作成し、2022 年 8 月にホームページに公開した。

(2) ギャンブル等依存症に関する情報収集を目的としたセミナーなどへの参加

2022 年度は下記のセミナーなどに参加し、他団体の情報収集を行った。

- ・ 2022 年度ギャンブル等依存症問題啓発週間フォーラム（2022 年 5 月）

主催：（公社）ギャンブル依存症問題を考える会

- ・ 誤解だらけの「ギャンブル依存症」出版記念セミナー（2022 年 7 月、9 月）

主催：認定 NPO 法人ワンデーポート

- ・ 2022 年度寄り添いホットライン事業報告会 神奈川（2022 年 10 月）

主催：（一社）ひと・くらしサポートネットちば

- ・ 兵庫県ギャンブル等依存症対策推進ネットワーク会議（2023 年 2 月）

主催：兵庫県福祉部障害福祉課

- ・ 生活づくり・環境整備の視点から見た依存問題基礎講座（2023 年 2 月）

主催：依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会

(3) 専門家との連携

ギャンブル等依存症対策について、専門医である精神科医師並びにギャンブル等依存症に精通した司法書士とアドバイザー契約を継続し、円滑な事業運営の一助とした。

(4) SMS を利用した追跡調査

① 内容

サポートコールへの相談前後における意識の変化について、携帯電話の SMS（ショートメッセージサービス）を利用したアンケートを行い、ギャンブル等依存症からの脱却プロセスの実態調査を行った。

② 実績

- ・送信数：4,767 件（前年比 909 件増）
- ・返信数：465 件（前年比 41 件増）
- ・返信率：9.8%（前年比 1.2%減）

4. ギャンブル等依存症予防に関する事業

ギャンブル等依存症予防に関する事業を以下の通り行った。

(1) 大学生向け講義の実施

下記の大学にて、身近な依存症、依存症のメカニズムをはじめとする基礎知識、対処法などの講義を行った。

- ・聖心女子大学（2022 年 11 月）
受講者数：371 人
- ・東北福祉大学（2022 年 12 月 3 回）
受講者数：延べ 230 人

(2) 予防教育ツールの制作・公開

- ① ホームページに公開している「リーフレット」、「マンガで解説！ギャンブル依存症」、「セルフチェックツール」などを活用し、周知啓発を行った。
 - ・セルフチェックツール：閲覧数 269,309 件、回答数 86,796 件
- ② 公営競技が行う大学生向け講義に使用する資料の作成協力を行った。

(3) サポートコールなどの周知に関する広報

サポートコールへの入電数の増加及びギャンブル等依存症の正しい知識の周知・啓発を目的に、下記の媒体にて広告の掲出を行った。

- ① Yahoo!
- ② Google
- ③ YouTube
- ④ Instagram
- ⑤ LINE

また、訴求効果を高めることを目的にYahoo!及びGoogleの広告バナーを刷新した。

(4) 相談内容に関する「月次レポート」の作成・公開

サポートコールへの相談内容を取りまとめた「月次レポート」を作成し、ホームページに公開した。

理事会・評議員会

2022年度に実施した理事会・評議員会は、以下の通り。

【理事会】

第1回 2022年6月7日（火）

- 第1号議案 2021（令和3）年度事業報告及び決算に関する件
- 第2号議案 2022（令和4）年度定時評議員会の招集に関する件
- 第3号議案 法人基本財産の運用に関する件
- 報告事項 事務局からの状況報告
 - ① 相談及びアクセス制限実績
 - ② サポートコールの実施状況

第2回 2022年10月20日（木）

- 第1号議案 2023年度日本財団助成金申請に関する件
- 報告事項 理事長の職務執行状況の報告
 - 事務局からの状況報告
 - ① 2022年度上半期の事業報告について
 - ② 2022年8月までのギャンブル等依存症の問い合わせ件数について
 - ③ その他

第3回 2023年3月14日（火）

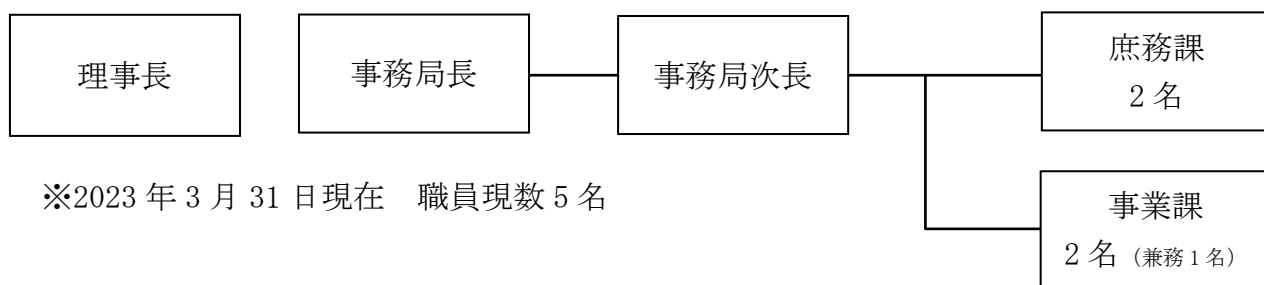
- 第1号議案 2023年度事業計画及び収支予算に関する件
- 報告事項 理事長の職務執行状況の報告
 - 事務局からの状況報告
 - ① ギャンブル等依存症の問い合わせ件数について
 - ② サポートコール年度レポートについて
 - ③ その他

【評議員会】

定 時 2022年6月28日（火）

- 第1号議案 2021年度決算に関する件
- 第2号議案 役員を選任に関する件
- 第3号議案 法人基本財産の運用に関する件
- 報告事項 2022年度事業計画及び収支予算に関する件

事務局組織図



評議員・理事・監事名簿

※2023年3月31日現在

【 評議員 】

氏名	所属
小鼓 和明	一般社団法人 全国モーターボート競走施行者協議会 常務理事 (開催支援担当)
佐々木 智宣	一般財団法人 BOATRACE 振興会 広報部 ゼネラルマネージャー
鈴木 茂正	公益社団法人 日本モーターボート選手会 専務理事
吉倉 和宏	公益財団法人 日本財団 常務理事
渡邊 哲宏	一般財団法人 日本モーターボート競走会 常務理事

【 理事 】

氏名	所属
川上 浩史	一般財団法人 日本モーターボート競走会 企画部 部長
川嶋 伸行	一般社団法人 全国ボートピア施設所有者協議会 事務局長
中村 裕昭	公益社団法人 日本モーターボート選手会 事務局長
藤井 昌広	一般財団法人 BOATRACE振興会 経営戦略本部 ゼネラルマネージャー
古川 秀雄※	一般社団法人 全国モーターボート競走施行者協議会 専務理事
山野 卓真	一般社団法人 全国モーターボート競走施設所有者協議会 理事（事務局長）

※ 理事長（代表理事）

【 監事 】

氏名	所属
青木 裕之	公益財団法人モーターボート競走保安協会 総務部 部長
小澤 善哉	小澤公認会計士事務所